

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第19巻第4号

発行日●2012年3月29日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

JACS 20周年記念コンファレンスのお知らせ

2012年度の消費者行動研究コンファレンスは、春秋とも、JACSの20周年を記念した特別プログラムが用意されます。

まず春の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。

現在、コーディネーターの山本昭二先生（関西学院大学）を中心としてプログラムを検討中です。詳細については次号で再度お知らせいたします。いましばらくお待ちください。

開催日程：2012年6月2日（土）・3日（日）

開催場所：関西学院大学・上ヶ原キャンパス（兵庫県西宮市）

第43回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告

<統一論題>伝統文化のシステムに学ぶ

去る2011年11月5日、6日の両日、大阪府高槻市の関西大学高槻ミュージックキャンパスにおいて、第42回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。

1日目の午前には、JACS論文プロポーザル賞のプレゼンテーションがあり、午後の自由論題研究報告では、2会場で計16の研究報告がありました。また2日目午前の自由論題研究報告では、2会場で計12の研究報告がありました。今回より、自由論題研究報告のフォーマットをショートセッションとロングセッションの2種類に簡素化したこともあって、セッションへの参加に際し、報告をする側と聴講する側のいずれにもわかりやすくなったのではないかと思います。今後も、自由論題のセッションをますます盛り上げていきたいものです。

2日目の午後には、統一論題の招待講演として、西尾久美子氏（京都女子大学）による「伝統文化のシステムに学ぶ」と題された講演がありました。京都花街における長期のフィールドワークの成果をまとめられたもので、講演の主題そのものも、またフィールドワークの方法論についても非常に興味深い内容となっていました。講演を聴講された方々が、西尾氏の研究をビビッドな刺激とし、新しい発想で研究を進展させるような展開を期待しています。

学会賞受賞者のお知らせ！

第 43 回消費者行動研究コンファレンスにおいて、学会賞各賞の受賞者が発表されました。

日本消費者行動研究学会優秀論文賞および研究奨励賞（青木幸弘賞）の受賞者は、次のように決定されました。

日本消費者行動研究学会優秀論文賞：

「ファジーベースの製品カテゴライゼーション：カテゴリー不確実性におけるマルチプル・カテゴリー製品への適用可能性」

西本章宏（小樽商科大学）、勝又壮太郎（長崎大学）、石丸小也香（榊大広）

日本消費者行動研究学会研究奨励賞（青木幸弘賞）：

「苦情対応と公正知覚が顧客満足に及ぼす影響：メタアナリシスによる研究成果の統合」

石田大典（早稲田大学商学大学院）

また、今回で第 11 回を迎えた JACS 論文プロポーザル賞については、例年どおり秋のコンファレンスでのプレゼンテーションにもとづく審査により決定されました。受賞されたのは次の方々です。

最優秀賞：

「『有名人』と『非有名人』の広告効果の比較分析」

窪田和基（慶應義塾大学大学院）

優秀賞：

「物語論をベースとしたマーケティング・クリエイティブ」

津村将章（東北大学大学院）

当論文プロポーザル賞は、学会での報告により、自分の研究を客観的な視点から捉え直すことのできる貴重な機会として位置づけられています。また、当プロポーザルをもとに進められた研究は、完了次第『消費者行動研究』への投稿が求められています。

本ニュースレターでは、各賞の受賞者を順に紹介いたします。

今号では、優秀論文賞を受賞された西本先生他の研究グループにご登場いただきました。

—日本消費者行動研究学会優秀論文賞—

「ファジーベースの製品カテゴリーライゼーション

—カテゴリー不確実性におけるマルチプル・カテゴリー製品への適用可能性—

西本章宏（小樽商科大学）

勝又壮太郎（長崎大学）

石丸小也香（榊大広）

この度は、優秀論文賞をいただき、研究メンバー一同、大変光栄に思っております。厳正な審査に携わってくださった先生方、日頃からご指導いただきお世話になっております先生方、そして、『消費者行動研究』の発刊にご尽力くださいました方々に改めて御礼申し上げます。

今回、私たちが投稿させていただきました論文「ファジーベースの製品カテゴリーライゼーション—カテゴリー不確実性におけるマルチプル・カテゴリー製品への適用可能性」は、それぞれの研究メンバーが、大学院の博士課程に所属していたときに行った共同研究の成果をまとめたものです。メンバー全員が若手研究者または若手実務家なのですが、私たちは、この若手研究会を2008年の冬に発足させました。

若手研究会を発足させたきっかけは、大義名分を掲げた立派なものなんかではなく、それぞれのメンバー間で抱いていた問題意識が、たまたま学会の懇親会の席で一致したことから、研究会がスタートしました。その問題意識とは2つあるのですが、1つは、自分の研究に対して相談にのってくれる研究仲間が欲しかったこと、もう1つは、まだまだ未熟な若手研究者と若手実務家だけで、どれだけの研究成果を上げることができるかということに挑戦してみたかったということでした。こんなことから始まった若手研究会ですが、今では、それぞれのメンバーにとってなくてはならない研究活動の場となっています。

この論文を執筆し終えるまではメンバー全員が東京にいたのですが、2011年4月からは、それぞれが、北海道、東京、大阪、長崎へと研究活動の場を移してしまい、バラバラになってしまいました…。それでも、

月に1～2回のペースで Skype を使って研究会を開き、半年に1回は全員が東京に集まって研究活動を行っています。

この若手研究会を通してつくづく感じるのですが、それぞれのメンバーが専門としている研究領域が、マーケティング・マネジメント、消費者行動、そしてマーケティング・サイエンスと異なっているからこそ、お互いにディスカッションをして、1つの研究課題に対して切磋琢磨していくことで、1人で研究をしているときよりも、はるかに新しいことに気づかされる機会が多いと思います。1人で研究に邁進していくことも、研究者として成長していくためには必要不可欠なことだと思いますが、さらに研究の発展を図っていくためには、複合的な研究視点から共同研究を行うことも、また必要不可欠なことだと感じています。

現在も、新しい研究課題を設定して、共同研究を進めているところです。今後とも、研究メンバー一同で研究に邁進していく所存ですので、学会報告やワークショップ等で皆様に研究成果を発信し、ご意見を頂戴することでさらなる研究の発展を図って参りたいと思います。

《編集担当より》

今回は、優秀論文賞を受賞されました西本先生、勝又先生、石丸先生の研究グループにご登場いただきました。なお、本論文は4名での共著ですが、規定により受賞者は本学会会員のみとなっています。

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なおホームページからもお手続きいただけますので、ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

●入会資格

[学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学術会員 2 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

[学術会員] 10,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事務局） 法政大学 経営学部 新倉研究室
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
Email: niikura@hosei.ac.jp

（事務取扱） 日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー10F（IBM 内）
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

<JACS Website>

<http://www.jacs.gr.jp/>